

第 1 回例会

開催日 平成 29 年 5 月 16 日 (火)

開催場所 札幌南ゴルフクラブ

競 技 の 条 件

1. ゴルフ規則

2016 年度(財)日本ゴルフ協会ゴルフ規則及び本競技のローカル・ルールを適用する。

2. 使用クラブの規格

『ゴルフ規則付 I(B) 1a 適合ドライバーヘッドリスト』を適用する。(ゴルフ規則 176P 参照)

3. 使用球の規格

『ゴルフ規則付 I (B) 1b 公認球リスト』を適用する。(ゴルフ規則 177P 参照)

4. ホールとホールの間での練習禁止

『ゴルフ規則付 I(B) 5b ホールとホールの間での練習禁止』を適用する。(ゴルフ規則 181P 参照)

5. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

ローカル・ルール

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって定める。

2. ウォーターハザードは黄色杭または黄色線、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭、赤線をもって定める。

3. 修理地は、青杭を立て、白線を持ってその限界を定める。

4. No. 6、No. 7、No. 15 ホールにおいて球がラテラル・ウォーターハザードにあることが分かっているか、ほぼ確実の場合、規則 26 に基づく処置、または追加の選択肢として、1 打の罰を加え指定ドロップ区域に球をドロップすることができる。

5. 樹木保護のための施設(巻網など)は樹木の一部とみなす。

6. 電磁誘導カート用の 2 本のレールはその 2 本のレールの全幅をもって 1 つのカート道路とみなす。このカート道路によってプレーヤーのスタンスや意図するスイングに対して障害が生じる場合、あるがままの状態プレーするか、規則 24-2b に基づく救済を受けるかどうかはプレーヤーの選択である。

一方、球がカート道路上にある場合はあるがままの状態プレーすることはできず、プレーヤーは規則 24-2b に基づく救済を受けなければならない。この場合、球のライだけでなく、スタンスや意図するスイング区域を含めて救済を受けなければならない。

このローカル・ルールの違反は 2 打罰

7. カート道路上にあった球が電磁誘導カートにより動かされた場合は無罰で球を元の位置に戻して上記 6 を適用する。

8. コース内にある防球ネットによる障害(ゴルフ規則 24-2a)のため、ゴルフ規則(24-2b)の救済を受ける場合には、その障害物の上を越えたり、中や下を通さずにニアレストポイントを決定しなければならない。このローカル・ルールの違反は 2 打罰

注 意 事 項

1. 競技の条件またはローカル・ルールに追加変更のあるときは、倶楽部ハウス内に掲示をして告示する。

2. パー 3 のホールに限り、先行組のプレーヤーは、自分の組の誰もまだパットを初めていない段階で後続組のプレーヤー全員がティーインググラウンドまで来ている場合、パッティンググリーン上にある球の位置をマークして全て拾い上げ、後続組プレーヤー全員がティーショットを済ませるまでプレーを控え、後続の組にティーインググラウンドからプレーをさせること。

3. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当に空けないように注意すること。

4. カート使用可